

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 8年 4月 9日

団体所在地 東広島市黒瀬町南方 1199 - 1

団体の名称 麦わらぼうしこどもえん

職・氏名 代表 稲垣直登

(施設名 麦わらぼうしこどもえん)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・入園遠足
- ・他園の子どもたちとの交流
- ・潮干狩り

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・海水浴

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・くだもの狩り
- ・運動会

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・餅つき
- ・節分(豆まき)
- ・チャレンジ一週間(今年度卒園児)
- ・卒園遠足

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

日々子どもたちの会話の中で興味・関心のある作物をテーマにミーティングを行い、子どもたちが選んだ品種を作付け収穫する。

大人は、基本的には子どもたちに頼まれたことのみ“お手伝い”の形に徹する。

キュウリやプチトマトなどは、いつでも自由にとって食べても良い設定になっているので、大きさや色合いを見ながら食べごろの物から上手に収穫していた。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

土遊びの最中に発掘した謎の物に関心を示し、洗ってみたりブラシでこすってみたりと正体を見極めるべく試行錯誤する様子が見られた。

大人からは、最後まで正体を明かすことなく子どもたちの想像の世界で一緒に楽しんだ。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

「今年は運動会をやってみたい！」の意見から、ミーティングを三週間前より始める。

種目、ルール、準備物・作成手順など毎日の話し合いで詳細を決め、子どもたちだけの発想と力だけで当日を迎える。

園にはグラウンドが無いので日々の遊び場として、いる里山の田畑をみんなで整備して会場とする。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

節分をひかえ“里山のとある場所に鬼が住んでいる”との発想から、自分たちで豆まき（鬼退治）のドラマを展開する。

大人たちは、子どもたちの自由な発想に終始笑いっぱなしとなる。

毎年そうなのだが、年明けとともに子どもたちがより一層育っていると確信できる場面が多くなることに、子どもたちの本来持つ力を大切にする暮らししかたを追求しなくてはと再認識させられる。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

例年通り、麦わらぼうし主催のセミナーをスタッフと企画し、今一番に学びたい内容に即した講師の方をお願いして、外部の幼児教育に携わっている方々を交えて学びの時間をつくった。

その他、今年も公立保育所の職員を対象とした公開保育と研修の実施をお願いされ、代表が講師も務める。

- ・ 地域との関わりについて

同じ学区の公立保育所や小学校と連携をとるため、お互いの子どもたちとの交流の機会を数回重ねて来た。その他、近隣の市の幼稚園の子どもたちも積極的に受け入れ、麦わらぼうしのフィールドでの体験活動をフォローした一年だった。

- ・ 保護者との関わりについて

毎月一回の、保護者との懇談会を中心に、園庭や保育フィールド（里山）の環境整備を共に進めてきた。

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	
-------	--